

人権としての介護保障を ～介護保険の改善方向を探る～



政府の社会保障削減政策により、介護現場は悲鳴を上げています。第16回を迎えた本集会では介護保険制度の現状と問題点を踏まえ、基本的人権としての高齢者ケア・社会保障のあり方を考え、「老人不安社会」から脱出を展望します。

●アクセス●



- JR中央線・総武線、東京メトロ丸の内線
御茶ノ水駅 下車徒歩約3分
- 東京メトロ千代田線
新御茶ノ水駅 下車徒歩約5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線
神保町駅 下車徒歩約5分

日時

2018年
11月18日 日 13:00～16:50

●開場12:00～ ●開会13:00～ ●閉会16:50

会場

するがだい
明治大学駿河台キャンパス
リバティータワー9階1093教室

参加費無料 どなたでも参加できます。事前申込み不要です。

主な内容

●講演Ⅰ「高齢者のケアを保障しえない 介護保険－歴史と現在」



はやし やすのり
林 泰則さん
全日本民主医療機関連合会事務局次長

全国の介護・福祉の拡充運動を利用者・現場の立場から、理念・情勢分析・政策提起でリード。わかりやすい話が好評です。

●講演Ⅱ「権利としての 高齢者ケア保障の確立へ」



よこやま としかず
横山 寿一さん
佛教大学社会福祉学部教授

福祉と社会のつながりが研究テーマ。これからの高齢者ケアのあり方を提起します。著書に「社会保障の再構築－市場化から共同化へ」など

●各界・各分野からの報告、討論